

参加農業者→取組実施者への申請(提出)書類について

ご使用にあたっての留意事項

この申請書は取組実施者が県協議会への申請にあたり必要事項を記載した参考様式です。
各取組実施者の対応にあわせて修正してください。

令和4年 月 日

取組実施者名〇〇
代表者氏名〇〇

様

申請者

氏名

〇〇〇〇

住所

〇〇〇〇

電話番号

〇〇〇〇

(日中、ご連絡が取れる番号としてください。)

令和4年度肥料価格高騰対策事業(秋肥分) 申請書

肥料価格高騰対策事業(秋肥分)の支援金を受給したいので、下記のとおり申請します。

記

群馬県協議会：
下欄①②を入力すると自動計算されます。

1 申請する支援金額

_____円

取組実施者確認欄

注文票及び領収書(又は請求書)は別添のとおりです。

算定式:

$$\text{支援金額} = \{ \text{①秋用肥料費} - (\text{①秋用肥料費} \div \text{②価格上昇率} \div \text{使用量低減率}0.9) \} \times 0.7$$

①秋用肥料費 (令和4年6~10月分)	②価格上昇率

群馬県協議会：
国から示されるまでお待ちください。

2 支援金の振込口座

取組実施者確認欄

支援金の振込みは以下のとおりお願いします。

(該当のものに〇印をつけてください。)

ア いつも使用している口座へ振り込んでください(下表と預金通帳等の写しの添付は不要です。)

イ 下記の口座に振り込んでください。

金融機関(ゆうちょ銀行以外)										
金融機関コード(数字4桁)										
金融機関名										
農業協同組合					銀行		信用金庫			
信用組合					労働金庫		信連 農林中金			
支店コード(数字3桁)										
支店名										
預金種別(該当のものを右欄に記入してください。)										
普通		当座		別段		通知				
口座番号		(7桁に満たない場合は、右づめで記入してください。)								
口座名義		カナ								
		漢字								
ゆうちょ銀行										
記号										
番号										
口座名義		カナ								
		漢字								

3 化学肥料の低減計画について

参考様式第2号「化学肥料低減計画書」のとおりです。

取組実施者確認欄	
取組2つ以上に○	
確約にチェック	
自署	

4 誓約・同意事項について

私は、支援金の申請にあたって、次の事項を誓約・同意します。
 (内容を確認の上、チェック欄に○を付け、署名をお願いします。)

取組実施者確認欄	
----------	--

チェック欄

1 支援金の振込みに必要な振込手数料について、支援金額から差し引くことを承諾します。

2 この事業に係る報告や立入調査について、国や県協議会等から求められた場合に応じます。

3 取組の実施が確認できる書類等の証拠書類について、支援金を受給した年度の翌年度から5年間保管し、県協議会又は国等から求められた場合は提出します。

4 以下の場合には、支援金を返還することに異存ありません。

ア 化学肥料低減計画書及びその他の提出書類において、虚偽の内容を申請したことが判明した場合

イ 正当な理由がなく、化学肥料低減計画書に記載した取組を実施していないことが判明した場合

氏名(自署) _____

参考様式第2号

群馬県協働会：
申請書から「氏名」「住所」「電話番号」が
自動入力されます。

化学肥料低減計画書

作付概要

作物名	作付面積 (ha)
〇〇〇	
〇〇〇	
その他	
計	

群馬県協働会：
自動計算されます。

秋用肥料	春用肥料	年間
〇		

注：該当するものに〇を付けること

氏名(法人・組織名) 〇〇〇〇
住所 〇〇〇〇
電話番号 〇〇〇〇

1. 実施する(してきた)取組メニューに「〇」を付してください。
2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用()		

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署)

(注) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。

預金通帳等の写し貼付台紙

取組実施者名
参加農業者名
(申請者名)

取組実施者名〇〇
〇〇〇〇

取組実施者確認欄

群馬県協議会：
申請書から「取組実施者名」「参加農業者名（申請者名）」が転記されます。

申請書に記載の振込口座についてのお願い

- ※1 口座名義は、申請者本人の名義としてください。
- ※2 口座番号など記入内容に誤りがないか、再度ご確認ください。誤りがあると、支援金の振込みができない場合があります。

預金通帳等の写しについてのお願い

- ※1 預金通帳等の写しは、口座番号等が確認できるものを貼付してください。「通帳の表紙」と「通帳を開いた1ページ目、2ページ目」が必要です。

**預金通帳等の写しが剥がれないように
のりやセロハンテープなどで
しっかり貼付してください。**

秋肥分注文票貼付台紙

取組実施者名
参加農業者名
(申請者名)

取組実施者名〇〇
〇〇〇〇

取組実施者確認欄

群馬県協議会：
申請書から「取組実施者名」「参加農業者名（申請者名）」が転記されます。

- 申請者（参加農業者）が令和4年6月～10月に発注したことを証明する書類になっていますか。
- 肥料名、数量、注文金額が記載されていますか。

**注文票が剥がれないように
のりやセロハンテープなどで
しっかり貼付してください。**

秋肥分領収書・請求書貼付台紙

取組実施者名
参加農業者名
(申請者名)

取組実施者名〇〇
〇〇〇〇

取組実施者確認欄

群馬県協議会：
申請書から「取組実施者名」「参加農業者名（申請者名）」が転記されます。

- 申請者（参加農業者）が令和4年6月～10月に注文した肥料の代金を支払ったことを証明する書類（領収書）になっていますか。
- 領収書をまだもらっていない場合は、請求書を提出してください。
- 肥料名、数量、購入金額が記載されていますか。

**領収書・請求書が剥がれないように
のりやセロハンテープなどで
しっかり貼付してください。**

<取組実施者に確認のお願い>

- 領収書又は請求書に記載のある肥料が令和4年6～10月の注文票に記載されているか。
- 記載のある肥料が、肥料の品質の確保等に関する法律において、登録・届出のある肥料に該当するか(該当するものは、肥料袋に保証票が貼付されています)。

群馬県協議会：
申請書から「参加農業者」欄、「秋用肥料」欄が
転記され、「総合計」が計算されます。

肥料価格高騰対策事業 参加農業者名簿

No.	参加農業者	支援予定額（円）				総合計
	氏名 又は 法人・組織名	秋用肥料（令和4年6月～令和4年10月購入分）		春用肥料（令和4年11月～令和5年5月購入分）		
		当年の肥料費	支援予定額	当年の肥料費	支援予定額	
	〇〇〇〇	0				
集計	—					

(注)

- 「肥料価格高騰対策事業取組計画書」の添付資料として使用する場合は、当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類（注文票等）と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類（領収書等）または支払い義務が生じていることを示す書類（請求書等）を提出すること。
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。
- 支援予定額の算出方法は下記のとおりとする。

$$\text{支援予定額} = \{ (\text{当年の肥料費}) - (\text{当年の肥料費}) \div (\text{高騰率}) \div 0.9 \} \times 0.7$$

ただし、当年における肥料コスト上昇に対して、都道府県及び市町村から支援金（以下「地方自治体支援金」という。）が交付されている場合にあっては、この交付額から以下の算定式により算出される調整額を控除したものを支援予定額とする。
 なお、調整額が負の数の場合は、調整額は0とする。また支援金が交付されている旨、備考欄に記載する。

$$(\text{調整額}) = (\text{地方自治体支援金}) - \{ (\text{当年の肥料費} - \text{前年の肥料費}) \times 0.3 \}$$
- 「肥料価格高騰対策事業取組実績報告書」の添付資料として使用する場合は、「支援予定額」を「支援額」とする。
- 適宜、行を追加すること。
- 表中に十分に記載できない場合には、別紙で提出すること。